



2007.11.03

『歩こう!文化のみち』



ハンドベルクワイア



ハーブアンサンブル



管弦楽部



ボランティア



茶道部による野点



茶道部による野点

コンサート、野点、展示etc... 約300名の生徒、教員が参加

名古屋城から徳川園にかけて、歴史と文化の香りを残している一帯を「文化のみち」といいます。江戸時代には武家屋敷が並び、明治時代には日本近代化の流れの中で工業・産業の一大集積地に、さらに大正時代には多くの著名人が邸宅を並べたこの地域には、数々の歴史的にも文化的にも価値の高い建造物が立ち並んでいます。

これらの建築遺産をより多くの人々に探訪していただき、名古屋だけで

なく日本の歴史にも触れていただくという意図の下で、東区の主催により1999年に始まったのが『歩こう!文化のみち』です。

毎年、文化の日に開催されるこのイベントでは、それぞれの建造物においてさまざまな催しが行われています。その中で金城学院は、やはり歴史的建造物のひとつである榮光館にてハンドベルクワイアの演奏を披露するなど、この『歩こう!文化のみち』に参加してきました。

そして迎えて9回目の開催となった今年は、名古屋市もこのイベントに参加したことで、名古屋城・

天守閣前の広場に設けられたステージにおいて、中学・高校の管弦楽、ハーブアンサンブル、グリークラブ、ハンドベルクワイアのコンサートが、それぞれ午前・午後の2度に分けて行われました。

ステージが設置された場所は、名古屋市が中心となり復元を目ざしている本丸御殿前の広場であり、天守閣に行くにはかならず通らなければならない場所でもあります。このような好立地をご提供いただいた名古屋市のご厚意により、当日は7,500余名の来場者のうち1,000名以上の方がコンサートの為に足

レポート



ハーパンアンサンブル



ハンドベルクワイア



グリーンクラブ



パイプオルガン演奏



美術部・書道部作品展



ボランティア



榮光館

を止めて聞いてくださいました。

また、コンサート会場からさほど離れていない猿面茶席前では、高校・大学の茶道部による野点が行われました。昨年までは旧豊田佐助邸での開催でしたが、こちらも今年は名古屋城内が会場となりました。

一方、榮光館では、中央階段上部にて美術部・書道部の作品を展示。さらに、講堂ではオカリナアンサンブル「TONE（トーン）」によるコンサート、続いて高校の脇山陽子先生による、パイプオルガン演奏が披露されました。

なお、榮光館は歴史的建造物として、当日は、9:30～16:00まで一般に公開されました。

ボランティアも充実

このように、今年は多くの金城学院生が日ごろの練習の成果を披露したわけですが、それ以外にも40名を超える中学・高校の生徒たちが、ボランティアとして各地に配置されました。

NPO法人『まちの縁側 MOMO』主催の竹トンボ等の昔懐かしい工芸品や、野焼きパンを作ったりす

るイベント「子どもも大人も楽しむ縁側工房」にも本校から10名がボランティアとして参加し、子どもたちとともに手作りの楽しさを体験しました。

「歩こう！文化のみち」は11月3日の開催でしたが、それに先がけての10月25日と11月1日には、文化のみち内の近代建築5館（文化のみち二葉館、榮光館、カトリック主税町教会、市政資料館、文化のみち榎木館）にて、それぞれに現存しているステンドグラスを探訪するミニツアーが開催され、こちらも好評を博していました。